

海外研修報告書

博士課程 1 年
児玉真希 (北米科)

この度、「卓越した大学院拠点形成支援補助金」の支援により、2014年2月24日から3月12日の17日間に渡って、アメリカ合衆国の The University of North Carolina at Chapel Hill (UNC)にて文献調査を行った。以下に今回の調査による成果を報告した。

今回の調査では、19世紀のアメリカ南部州、とりわけノースカロライナ州で奴隷制を維持し、擁護したいと考えていたプランターの生活スタイルが、南部社会の秩序とどう関連しているのか検証すべく、一次史料を収集することが目的であった。そのため、調査は主に UNC のウィルソン図書館を中心に敢行した。この図書館には大学が所蔵する貴重なコレクションが収められている。その中の The Southern Historical Collection は、アメリカの南部地域に関する文献が集められ、植民地期の古い時代から 20 世紀後半までを網羅し、南部史に関する史料の量と豊富さで有名である。

調査では 19 世紀前半に活躍したノースカロライナ州最高裁判所の首席判事であった Thomas Ruffin が個人的に交わした書簡、プランテーションの記録や帳簿などを閲覧した。また、Ruffin の娘の嫁ぎ先である The Cameron Family Papers や The Anne Cameron Collins Papers など Ruffin の親族にあたる人物の書簡も調査することが出来た。ウィルソン図書館には知識豊富なアーキビストがおり、調査中は大変助けてられた。その一人である William Turi 氏と話すことが出来、調査対象の文献以外の有益な情報を提供してもらえた。彼からは、ノースカロライナ州における他のプランター家族やそのコレクションの内容についての情報を得ることが出来た。この情報は、研究を進めるにあたって大変参考になり、The DeRossett Family Papers や George Mordecai Papers なども調査の対象となった。

今回の文献調査は、今後の研究課題が明確になったのと同時に、研究の方向性を定める良い経験ができた。このような機会を下さったことを、心よりお礼申し上げたい。



ウィルソン図書館のサーチルーム



ウィルソン図書館